

コンテンツフィルタリングソフト「Hazard Shield」

1999 年（平成 11）に、インターネット上の有害情報へのアクセスを自動的に防止するソフト「Hazard Shield」を開発した。このソフトはページ中に出現する単語や語句をチェックし、不適切なページであるかどうかを自動的に判定する。「Hazard Shield」は URL チェック方式とコンテンツチェック方式とを組み合わせる方式を採用しているために、従来のソフトでは困難だった新規登録された不適切情報へのアクセス制限を確実に行うことができる。このソフトを用いることによって、学校教育現場などに適したインターネット環境の構築が可能になる。

出典：KDD 社史